

巻頭言

尾道市文化協会会長 石田 克彦 ◇ 6

§ 会員作品 日本画・洋画・彫刻・工芸

§ 評論

幕末の海外漂流、瀬戸田の仙太郎の生涯
「山陽周辺の女流画家たち」展に寄せて
林芙美子の香り立つ晩年の恋(続編)
山王社拜殿騒動記―明治二年 口上書覚より―

村上 貢 ◇ 11
池田 明子 ◇ 19
清水 英子 ◇ 25
島谷 勲 ◇ 30

§ 随想

二つの故郷―記録映画作りをとおして見た東と西―
岡巴拉山 4990m と岡巴拉山口 4620m について (岡巴拉山頂からラサが見える)

森 弘太 ◇ 36
吉田 繁 ◇ 42

白山の味噌汁
山と湖と草原と
連載コラム「尾道にて」(抄)
拘農法(四)

君の記憶にあるものは
文学記念室からのメッセージ
瀬戸田に於ける江戸時代末期の俳人古志南岳について

後藤 良雄 ◇ 61
小山 歩 ◇ 66
高垣 亜矢 ◇ 71
高垣 俊雄 ◇ 77
根角 哲司 ◇ 83

§ 文芸

現代詩 川の町で
夏の蔭
花影
吟行会の道

木村大刀子 ◇ 85
久井 茂 ◇ 89
山口美沙子 ◇ 91
吉野 太郎 ◇ 94

短歌 伏兵
黄色い兔

高垣 憲正 ◇ 96
花本 圭司 ◇ 98
仲尾 修 ◇ 100
瀬戸田短歌教室 ◇ 101

俳句

波動・うず潮短歌会 ◇ 113
浦崎短歌会 ◇ 109
世紀短歌会 ◇ 101
瀬戸田短歌教室 ◇ 101
仲尾 修 ◇ 100
花本 圭司 ◇ 98
高垣 憲正 ◇ 96
因島俳句研究会 ◇ 128
因島俳句研究会 瑠璃 ◇ 131
しまなみ俳句会 ◇ 148
瀬戸田俳句会 ◇ 149
城間 和行 ◇ 154
黒田 歩兵 ◇ 159
島 匠介 ◇ 165
幡地谷 領 ◇ 171

§ 会員作品 華道・写真・書

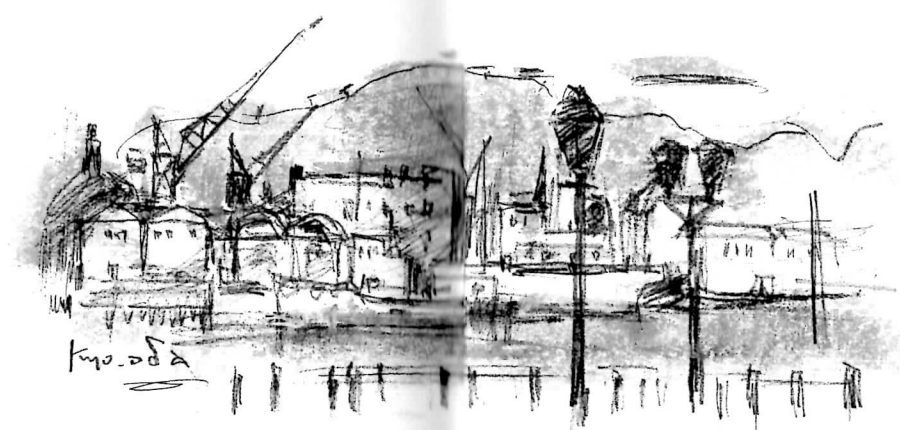
◇ 177

§ 文学関係著書発刊の記録・寄贈図書を紹介・会員行事の紹介

◇ 183

〈編集後記〉

・ヘコラム ◇ 186
・中表紙写真について ◇ 182
・表紙装画 第三回写真のまち尾道四季展尾道四季賞(晩秋)『眺望』 東広島市 田部 昌子 ◇ 76
・表紙について ◇ 176
・題字 藤原 勝子 ◇ 148
・装画・カット 織田 恭一 ◇ 132
◇ 148
◇ 132
◇ 186



尾道文化

第二十八号 (もくじ)

巻頭言

尾道市文化協会会長 石田 克彦 ◆ 6

§ 絵画・彫刻・陶芸

◆ 7

§ 評論

千島艦の海難事件と水先人北野由兵衛(尾道市出身)
『風琴と魚の町』は、林芙美子の尾道来着過程の事実ではない。

村上 貢 ◆ 11
清水 英子 ◆ 17

§ 随想

「尾道シナリオ大賞」の夢
たかが万歩計、されど万歩計(健康ウォーク二十年の記録から)
死を生きる
さくらあれこれ
句誌さいかちに於ける戦後俳句
あふれる
先生のえくぼ
無弟先生語録

森 弘太 ◆ 22
平松 携 ◆ 29
中村 英子 ◆ 35
住貞 義量 ◆ 41
根角 哲司 ◆ 45
高垣 亜矢 ◆ 50
堀川 弘 ◆ 53
後藤 良雄 ◆ 58

§ 文芸

・ 現代詩 父 Goodbye 愛する煙きずなよ
小高い丘で
藍いろの海 — 「藍」が見えなくなる朝 —

仲尾 修 ◆ 63
山口美沙子 ◆ 66
藤井 壯次 ◆ 68
浦崎短歌会 ◆ 70
波動うず潮短歌会 ◆ 74
尾道アララギ短歌会 ◆ 82

・ 短歌

・ 俳句

・ 川柳
・ 創作民話 河童の島渡り
・ 小説 さざ波
田面船
磯香のなかに
入船裕二先生を送る辞
入船先生の名詩「鴛鴦の別れ」
鴛鴦別

仲尾 修 ◆ 89
小西 眸 ◆ 90
俳句同好会 瑠璃 ◆ 91
しまなみ俳句会 ◆ 93
瀬戸田俳句会 ◆ 106
因島俳句研究会 ◆ 111
おのみち川柳会 ◆ 114
因島傘川柳会 ◆ 115
鎌倉 勇弥 ◆ 126
黒田 歩兵 ◆ 130
矢嶋 伊作 ◆ 136
幡地谷 領 ◆ 142
手塚 弘三 ◆ 147
池田 明子 ◆ 149
入船 裕二 ◆ 150

§ 表紙装画・中表紙写真の紹介

◆ 152

§ 華道・写真・書

◆ 153

§ 寄贈図書を紹介・尾道市文化協会会員行事の紹介

◆ 159

§ 会員作品の紹介

◆ 161

〈編集後記〉

・ 題字
・ 装画・カット

藤原 勝子 ◆ 162
城本 満弘



尾道文化

第二十九号 〔もくじ〕

発刊のことは

尾道市文化協会会長代行

吉村

功 ◇ 6

§ 絵画・写真

§ 評論

女傑麻生イトの生涯
林芙美子の「尾道文芸講演会」
平山郁夫画伯の遺志を博物館から美術館へ

§ 随想

備後の彫刻家
青春群像 〔夜間定時制高校の生徒たちとその後〕
あるオルガニストの肖像 〔中村証二氏のこと〕
吉備津へ
盆棧

§ 短歌

尾道アララギ短歌会 ◇ 61

§ 俳句

句会 瑠璃 ◇ 69
しまなみ俳句会 ◇ 71
さいかち瀬戸田俳句会 ◇ 81
因島俳句研究会 ◇ 86
おのみち川柳会 ◇ 87
因島番傘川柳会 ◇ 92

§ 川柳

§ 尾道ものがたり賞
選評

〈大賞〉猫と少女と坂道と
〈優秀賞〉しまなみ浪漫鉄道一九九九
〈佳作〉イマジン

事業概要

§ 小説

絆
ジョン・ビーチの過去
バスの中で
櫛

§ 生花・書・彫刻・陶芸

§ 表紙装画・中表紙写真の紹介

§ 会員作品の紹介

〈編集後記〉

・コラム
・題字
・装画・カット

◇ 7

村上 貢 ◇ 11

清水 英子 ◇ 21

松崎 哲 ◇ 26

住貞 義量 ◇ 32

後藤 良雄 ◇ 40

山崎 彰慶 ◇ 48

高垣 亜矢 ◇ 52

堀川 弘 ◇ 55

仲尾 修 ◇ 68

句会 瑠璃 ◇ 69

しまなみ俳句会 ◇ 71

さいかち瀬戸田俳句会 ◇ 81

因島俳句研究会 ◇ 86

おのみち川柳会 ◇ 87

因島番傘川柳会 ◇ 92

榎林 況二 ◇ 98

寺柚 雅人 ◇ 100

光原 百合 ◇ 102

木下 訓成 ◇ 104

山 婦 来 ◇ 113

中丸 象介 ◇ 121

幡地谷 領 ◇ 132

中村 英子 ◇ 141

花本 圭司 ◇ 149

矢嶋 伊作 ◇ 156

◇ 172

◇ 174

藤原 勝子 ◇ 140

竹森 勅彦 ◇ 47



尾道文化

第三十号 くもくじ

S 発刊のことは

尾道市文化協会会長

川口 協治 ◆ 6

S 『尾道文化』の表紙絵から

◆ 7

S 評論

伊能忠敬の尾道周辺の測量
物語を生かした尾道の地域活性
尾道で近世文学を
林芙美子と尾道

S 随想

かならず朝は来る
災害表現の壁
軌跡く教育への思い、折々の記く
踊り念仏 訪ね歩き記
尾道市御調地域の地名を考える
渚にて
山に咲く花
思い出したことく 『尾道文化』の表紙絵からく

S 文芸

・現代詩 寂寞
海

仲尾 修 ◆ 96
石倉登喜子 ◆ 98

入院 符合パーティ
・短歌
・俳句

花本 圭司 ◆ 100
山口美沙子 ◆ 102
尾道アララギ短歌会 ◆ 104
仲尾 修 ◆ 112

・小説
風よ、やさしくここへ
マクロのミクロはマクロ
暮秋の教室
たぬき
一本の刀
風花

しまなみ俳句会一・二 ◆ 113
句会 瑠璃 ◆ 124
さいかち瀬戸田俳句会 ◆ 126
おのみち川柳会 ◆ 132
因島番傘川柳会 ◆ 138
空月 光夜 ◆ 142
中村 英子 ◆ 148
黒田 歩兵 ◆ 154
矢嶋 伊作 ◆ 160
幡地谷 領 ◆ 168
作・絵 中丸 象介 ◆ 176

S 尾道マンガ大賞

◆ 185

S 表紙装画・中表紙写真の紹介

◆ 191

〈編集後記〉

・コラム
・題字
・装画・カット

藤原 勝子 ◆ 65
妹尾 宏 ◆ 131

